

小学校社会（4年生）

■ 成果(◇)と課題(◆)

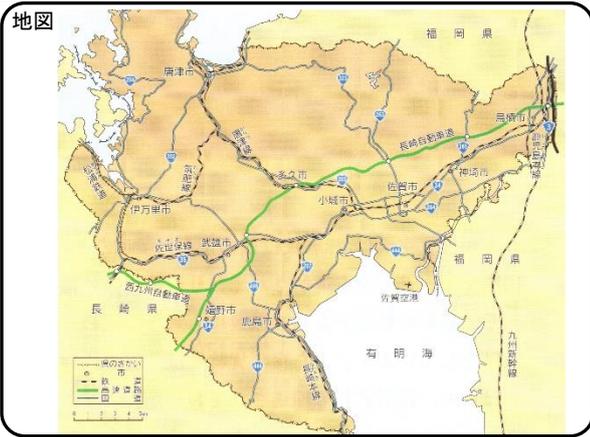
- ◇ 販売の仕事に見られる集客の工夫や、古くから残る暮らしに関わる道具を理解することができている。 設問 2(2)、6(1)
- ◇ 資料から、販売の仕事に見られる工夫や努力、人口の変化とごみの量の変化を読み取る技能が身に付いている。 設問 2(1)、3(1)
- ◆ 資料から、森林の働きを読み取る技能に課題が見られる。 設問 4(3)
- ◆ 資料から、必要な情報を読み取り、条件に合わせて説明することに課題が見られる。 設問 1(3)

■ 課題が見られた設問1(3)の誤答例(・)と解説

誤答例 1	誤答例 2	誤答例 3
<p>・(そこから、)東に曲がり進むと神社があります。そこを、おばあちゃんから見て西に進んでいく(と病院があります。)</p> <p>・(そこから、)東に曲がって行くと神社があって、神社から見て西に行く(と病院があります。)</p>	<p>・(そこから、)西へ行って、神社を通って北に行く(と病院があります。)</p> <p>・(そこから、)西に曲がって進むと神社があります。そこを東に曲がって進んでいけば図書館(と病院があります。)</p>	<p>・(そこから、)右にまがると神社があって、左に曲がってまっすぐいく(と病院があります。)</p> <p>・(そこから、)左にいて、神社のところまっすぐいく(と病院があります。)</p>
<p>四方位を理解することはできているが、自分から見て左側を西というように、方位記号に着目することができていないために、正しく表現することができていない。</p>	<p>四方位を誤って理解しているため、正しく表現することができない。</p>	<p>四方位を正しく表現することができない。</p>

■ 設問1(3)の誤答傾向を基にした指導改善のポイント（※「県の様子」で例示しています。）

指導改善のポイント
 児童が、資料から必要な情報を読み取り、条件に合わせて説明することができるようになるためには、以下の授業例のように、資料を読み取る際に、条件を基に気付きを挙げて、説明することができるように指導することが大切です。

<p>① 佐賀県の交通の様子を見て、気付きを挙げる。</p>  <p>佐賀県では、道路や鉄道がどのように通っていますか。地図を見て、方位を表す言葉を使って気付きを挙げましょう。</p> <p>佐賀市は、34号線が東西に通っています。</p> <p>佐賀市は、高速道路の長崎自動車道も東西に通っています。</p> <p>九州新幹線が鳥栖市を南北に通っていて、他の県に行くのに便利です。</p>	<p>② 佐賀県の交通の様子を見て、目的地への行き方を、方位を表す言葉を使って説明する。</p> <p>佐賀市から嬉野市に自動車で行くにはどのような行き方ができますか。方位を表す言葉を使って、説明しましょう。</p> <p>嬉野市を見つけたよ。西側には、長崎県があるね。</p> <p>まず、佐賀市から34号線を西に進み、武雄市まで行きます。そして、武雄市から左に曲がって進むと、嬉野市に着きます。</p> <p>方位を表す言葉を使って言わないといけないから、左ではなく西じゃないかな。</p> <p>嬉野市は武雄市から見て、どの方角ですか。</p> <p>南の方角です！</p> <p>佐賀市から、34号線を西に進み、武雄市まで行きます。そして、武雄市から南に向かって進めばいいです。</p> <p>そうですね。それでは、佐賀市から唐津市や鳥栖市への行き方についても、方位を表す言葉を使って、隣の人と説明し合いましょう。</p>
--	---

小学校社会（5年生）

■ 成果(◇)と課題(◆)

- ◇ 世界の国名、国旗（大韓民国、ブラジル）や、米づくりの仕事について理解することができている。 設問2(1)、4(1)
- ◇ 資料から、漁業に関わる人々の工夫や、自動車づくりに関わる人々の工夫を読み取る技能が身に付いている。 設問5(2)、7(2)
- ◆ 日本が抱える領土問題や日本の気候の特色についての理解に課題が見られる。 設問2(3)、3(2)
- ◆ 複数の資料を関連付けて、給食で米粉が使われている目的について説明したり、自給率が低下してきた理由について説明したりすることに課題が見られる。 設問4(5)、6(2)

■ 特に課題が見られた設問6(2)の誤答例(・)と解説

<ul style="list-style-type: none"> ・外国から輸入しているから日本はあまり作っていない。 ・他の国から輸入する量が多くなってきているから。 ・輸入してくる外国産のものを食べているから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国産の食料の方が高いから。 ・外国産の方が安いから。 ・国産と外国産のねだんの差が大きいから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・肉より野菜が増えてきている。 ・農業する人がへってきているから。 ・とれたものを外国に輸出しているから。
<p>「食料の輸入量が増えてきていること」は記述することができているが、「外国産の食料の値段が、国産よりも安いこと」が記述することができていない。</p>	<p>「外国産の食料の値段が、国産よりも安いこと」は記述することができているが、「食料の輸入量が増えてきていること」が記述することができていない。</p>	<p>「外国産の食料の値段が、国産よりも安いこと」も、「食料の輸入量が増えてきていること」も記述することができていない。</p>

■ 設問6(2)の誤答傾向を基にした指導改善のポイント

指導改善のポイント

児童が、複数の資料を関連付けて、説明することができるようになるためには、以下の授業例のように、資料を一つ一つ読み取り、読み取ったことをつなげて説明することができるように指導することが大切です。

資料1 日本と主な国の食料自給率

資料2 国産と外国産の食料のねだん

品目	国産 (円/kg)	外国産 (円/kg)
たまねぎ	300	150
ねぎ	550	300
にんじん	450	300
牛肉	750	250

資料3 食料品別の輸入量の変化

② 自給率が低下してきた理由を複数の資料を関連付けて、説明する。

① 自給率が低下してきた理由を資料から読み取り、説明する。

資料1を見ると、日本の自給率が低下してきています。なぜだと思いますか。資料2から読み取って説明しましょう。

資料2を見ると、野菜も牛肉も、国産より外国産が安いことが分かります。

安い外国産の野菜や牛肉がたくさん買われているので、国産が売れなくて、生産量が減ってきたからではないかな。

この資料だけでは、外国産がたくさん買われているかどうかは分からないね。

外国産のものをたくさん買っているかどうかを調べるためには、どのような資料があれば分かりますか。資料を探して、説明しましょう。

資料3「食料品別の輸入量の変化」というグラフがありました。このグラフを見ると、外国産の野菜や肉類の輸入量の変化が分かります。

グラフから、野菜も肉類も1970年と比べると、輸入している量がだんだん増えていることが分かります。

それでは、日本の自給率が低下してきたのはなぜですか。資料2と資料3から考えられることをつなげて説明しましょう。

資料2と資料3から、外国産の野菜や牛肉が国産よりも安くて、輸入量が増えてきたから、国産の野菜や牛肉の生産量が減り、自給率が低くなってきたのだと思います。

小学校社会（6年生）

■ 成果(◇)と課題(◆)

- ◇ 資料から、前方後円墳の分布や古墳の種類、武士と貴族の生活の違いなどを読み取る技能が身に付いている。 設問2(3)、4(1)
- ◇ 複数の資料から、江戸時代の農民の暮らし、戦時中の国民の生活の様子について読み取る技能が身に付いている。 設問5(4)、8(2)
- ◆ 資料を基に、天皇の力が全国に及んでいたと考えられる理由や、江戸幕府が大名の配置を工夫した理由について説明することに課題が見られる。 設問3(3)、5(2)
- ◆ 明治政府の政策や満州事変以降の戦争の広がりについての理解に課題が見られる。 設問6(2)、8(1)

■ 特に課題が見られた設問5(2)の誤答例(・)と解説

<p>・(外様大名は、)江戸を囲むよう(に)配置している。なぜなら、)攻撃されることから守る(ためである。)</p> <p>・(外様大名は、)日本の海沿い(に)配置している。なぜなら、)反乱を起こさないようにする(ためである。)</p>	<p>・(外様大名は、)江戸から遠く(に)配置している。なぜなら、)あまりかかわりが無いようにする(ためである。)</p> <p>・(外様大名は、)江戸から遠く(に)配置している。なぜなら、)敵が来てもそこで足止めができるようにした(ためである。)</p>	<p>・(外様大名は、)全国各地(に)配置している。なぜなら、)反乱が起こらないか見張る(ためである。)</p> <p>・(外様大名は、)日本全体に(に)配置している。なぜなら、)いつでも戦いに行ける(ためである。)</p>
<p>外様大名を配置した理由は記述することができているが、江戸から遠くに配置されたことを読み取ることができていない。</p>	<p>外様大名が江戸から遠くに配置されたことは読み取ることができているが、その理由を記述することができていない。</p>	<p>外様大名が江戸から遠くに配置されたことを読み取ることができておらず、その理由も記述することができていない。</p>

■ 設問5(2)の誤答傾向を基にした指導改善のポイント

指導改善のポイント

児童が、江戸幕府が大名の配置を工夫した理由について説明することができるようになるためには、以下の授業例のように、資料から大名の配置の工夫を読み取り、それぞれの大名と徳川家の関係を基に大名の配置を工夫した理由について説明することができるように指導をすることが大切です。

① 地図から、大名の配置の工夫について読み取り、気づきを挙げる。

江戸幕府は、大名の配置をどのように工夫していますか。地図を見て、気づきを挙げましょう。

親藩、譜代、外様に分けて配置しています。

譜代大名は江戸の近くに多く集まっています。

外様大名は、江戸から遠いところに配置されています。どうしてかな。

譜代大名は、外様大名の近くに配置されています。どうしてだろう。

② 大名の配置を工夫した理由について説明する。

譜代大名や外様大名が地図のように配置されたのはなぜですか。大名を3つに分けたことを基に考えましょう。

譜代大名を江戸の近くに配置したのは、江戸幕府を守るためだと思います。

外様大名を江戸から遠いところに配置したのは、外国から攻めてきたときに守るためかな。

それぞれの大名と徳川家がどんな関係なのか読み取り、大名の配置の工夫を説明してみましょう。

外様大名は、関ヶ原の戦い以後に家来になったから、江戸幕府は信用していないんじゃないかな。

だから、江戸から遠いところに配置して、裏切っても、攻めて来られないようにしたんだね。

譜代大名を外様大名の近くに配置したのも、見張るためだね。徳川家は、江戸幕府を安定させるために、大名の配置を工夫したんだね。

集計結果 ※「◎」は「十分達成」、「▼」は「要努力」を示す

	児童生徒数	正答率	無解答率	到達基準		到達状況
				十分達成	おおむね達成	
県	7,110	74.1	2.9	78.8	58.8	

分類・区別集計

分類	区分	対象設問数(問)	県正答率	県無解答率	到達基準		到達状況
					十分達成	おおむね達成	
学習指導要領の内容・領域等	身近な地域	4	66.6	1.5	80.0	60.0	
	地域の生産や販売	4	88.6	1.0	78.8	58.8	◎
	住みよいくらし	9	69.6	3.2	77.8	57.8	
	安全を守る	5	73.0	3.2	80.0	60.0	
	地域社会の歴史	4	78.4	5.0	78.8	58.8	
評価の観点	①思考・判断・表現	7	68.0	5.1	71.4	51.4	
	②技能	8	76.1	2.5	80.6	60.6	
	③知識・理解	11	76.4	1.7	82.3	62.3	
問題形式	選択式	11	79.7	1.4	81.4	61.4	
	短答式	9	70.8	2.8	80.6	60.6	
	記述式	6	68.8	5.7	71.7	51.7	
活用	「活用」に関する問題	5	66.9	4.5	70.0	50.0	

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の内容・領域等				評価の観点			問題形式		活用 「活用」に関する問題	県正答率	県無解答率	期待正答率		到達状況
		身近な地域	地域の生産や販売	住みよいくらし	安全を守る	地域社会の歴史	①思考・判断・表現	②技能	③知識・理解	選択式				短答式	記述式	
1	(1)ア 主な地図記号を理解している(田)	○					○		○			82.8	1.4	85	65	
1	(1)イ 主な地図記号を理解している(警察署)	○					○		○			62.5	1.4	85	65	▼
1	(2) 地図から、必要な情報を読み取ることができる	○					○		○			70.0	0.7	80	60	
1	(3) 地図から必要な情報を読み取り、条件に合わせて説明することができる	○					○			○	○	51.2	2.5	70	50	
2	(1) 資料から、販売の仕事に見られる工夫や努力を読み取ることができる	○					○		○			89.5	0.3	85	65	◎
2	(2) スーパーマーケットの集客の工夫を理解している	○					○		○			90.7	0.4	80	60	◎
2	(3) 資料から、品物の産地を読み取ることができる	○					○		○			90.7	0.6	80	60	◎
2	(4) 資料を基に、売れ残った商品の値段を下げる理由を説明することができる	○					○			○	○	83.5	2.9	70	50	◎
3	(1) 資料から、人口の変化とごみの量の変化を読み取ることができる	○					○		○			87.3	1.5	80	60	◎
3	(2) 資料を基に、ごみの出し方について考えることができる	○					○		○	○		63.4	1.7	70	50	
3	(3) 清掃工場の仕組みを理解している(プラットホーム・中央制御室)	○					○		○			69.5	2.2	85	65	
3	(4) 資料を基に、新しい最終処分場(処分場)を建設する際の問題点について説明することができる	○					○			○	○	59.5	8.4	70	50	
3	(5) 資料を基に、ごみを減らす工夫について考えることができる	○					○		○			71.5	6.3	75	55	
4	(1) 資料から、水の使われ方と使用量を読み取ることができる	○					○		○			72.9	2.0	80	60	

設問別集計結果

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の内容・領域等				評価の観点			問題形式		活用「活用」に関する問題	県正答率	県無解答率	期待正答率		到達状況
		身近な地域	地域の生産や販売	住みよいくらし	安全を守る	地域社会の歴史	①思考・判断・表現	②技能	③知識・理解	選択式				短答式	記述式	
4	(2)	水道水が家や学校に送られるまでの流れを理解している	○					○				74.7	0.9	80	60	
4	(3)	森林の働きを読み取ることができる	○					○		○		54.1	4.8	80	60	▼
4	(4)	安全で安心な水が家や学校に送られるまでの仕事について理解している	○					○				73.5	1.2	80	60	
5	(1)	交通事故が起こったときの連絡の仕組みを理解している		○				○				68.7	1.1	80	60	
5	(2)	交通事故が起こったときの警察の仕事を理解している		○				○				71.9	1.6	80	60	
5	(3)	人々の安全を守る警察の仕事を理解している		○				○				81.5	1.9	85	65	
5	(4)	資料を基に、地域の人が子どもの安全を守るために取り組んでいることについて考えることができる		○				○		○		70.1	6.9	75	55	
5	(5)	資料から、まちの安全を守るための地域の取り組みを読み取ることができる		○				○		○		73.0	4.3	80	60	
6	(1)	古くから残る暮らしに関わる道具を理解している(かまど)			○			○				95.3	2.8	85	65	◎
6	(2)	昔の道具について調べたことを、カードにまとめることができる			○			○				71.4	5.9	80	60	
6	(3)	昔と今の道具を示した資料を基に、人々の暮らしの変化について説明することができる			○			○		○	○	77.0	7.2	70	50	◎
6	(4)	地域の祭りや行事について理解している			○			○				69.7	4.0	80	60	

集計結果 ※「◎」は「十分達成」、「▼」は「要努力」を示す

	児童生徒数	正答率	無解答率	到達基準		到達状況
				十分達成	おおむね達成	
県	7,461	68.5	2.3	79.3	59.3	

分類・区別集計

分類	区分	対象設問数(問)	県正答率	県無解答率	到達基準		到達状況
					十分達成	おおむね達成	
学習指導要領の内容・領域等	県の様子(3・4年)	4	81.0	0.4	81.3	61.3	
	国土の様子	7	69.4	0.9	82.1	62.1	
	食料生産の様子	12	65.6	3.6	77.5	57.5	
	工業の様子	5	64.1	2.5	78.0	58.0	
評価の観点	①思考・判断・表現	5	39.3	5.8	70.0	50.0	▼
	②技能	11	77.2	1.0	80.5	60.5	
	③知識・理解	12	72.6	1.9	82.1	62.1	
問題形式	選択式	15	78.7	0.6	81.7	61.7	
	短答式	8	67.7	3.2	80.6	60.6	
	記述式	5	39.3	5.8	70.0	50.0	▼
活用	「活用」に関する問題	5	39.3	5.8	70.0	50.0	▼

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の内容・領域等				評価の観点	問題形式	活用 「活用」に関する問題	県正答率	県無解答率	期待正答率		到達状況
		県の様子(3・4年)	国土の様子	食料生産の様子	工業の様子						十分達成	おおむね達成	
1	(1)	自分が通う小学校がある市や町の地理的な位置を理解している	○						88.5	1.1	85	65	◎
1	(2)①	地図から、県内の特色ある地形の様子を読み取ることができる(佐賀平野)	○			○			84.4	0.3	80	60	◎
1	(2)②	地図から、県内の特色ある地形の様子を読み取ることができる(有明海)	○			○			79.2	0.2	80	60	
1	(3)	都道府県の名称と位置を理解している(石川県・静岡県)	○						72.1	0.2	80	60	
2	(1)	世界の国名と国旗を理解している(大韓民国・ブラジル)	○						85.5	0.1	85	65	◎
2	(2)③	地図から、日本の南端の島を読み取ることができる(沖ノ島)	○			○			72.3	1.0	80	60	
2	(2)④	地図から、日本の周りの海を読み取ることができる(日本海)	○			○			85.5	1.0	80	60	◎
2	(3)	日本が抱える領土問題を理解している(北方領土・竹島)	○						56.3	0.3	80	60	▼
3	(1)	日本の地形の特色について理解している	○						67.4	0.2	85	65	
3	(2)	日本の気候の特色について理解している(梅雨)	○						64.4	2.9	85	65	▼
3	(3)	資料から、気温と降水量を読み取ることができる	○						54.7	0.5	80	60	▼
4	(1)	米づくりの仕事について理解している	○						88.4	0.2	85	65	◎
4	(2)	品種改良を理解している	○						62.7	7.3	80	60	
4	(3)	資料から、農業で働く人数の変化について読み取ることができる	○						87.3	0.6	80	60	◎

設問別集計結果

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の内容・領域等				評価の観点			問題形式		活用「活用」に関する問題	県正答率	県無解答率	期待正答率		到達状況
		県の様子(3・4年)	国土の様子	食料生産の様子	工業の様子	①思考・判断・表現	②技能	③知識・理解	選択式	短答式				記述式	十分達成	
4	(4)	資料を基に、農業機械の所有台数の変化に着目した質問を考えることができる	○							○	○	44.7	4.0	75	55	▼
4	(5)	資料を基に、給食で米粉が使われている目的について説明することができる	○							○	○	48.1	5.1	70	50	▼
5	(1)	資料から、水揚げ量の多い漁港や日本近海の海流を読み取ることができる	○						○			69.5	0.4	80	60	
5	(2)	資料から、魚の特性に合わせた漁法を読み取ることができる	○						○			93.2	0.3	85	65	◎
5	(3)	水揚げされた魚を新鮮なまま保存する工夫について理解している	○					○				80.0	1.6	80	60	◎
5	(4)	資料を基に、遠洋漁業の生産量が減ってきている理由を説明することができる	○							○	○	48.5	7.8	65	45	
6	(1)	トレーサビリティを理解している	○						○			79.4	0.6	80	60	
6	(2)	資料を基に、自給率が低下してきた理由について説明することができる	○							○	○	26.3	7.0	70	50	▼
6	(3)	地産地消を理解している	○						○			59.2	7.7	80	60	▼
7	(1)	自動車の生産過程を理解している	○						○			67.8	0.9	80	60	
7	(2)	資料から、自動車づくりの工夫を読み取ることができる	○						○			87.7	1.1	80	60	◎
7	(3)	資料から、自動車の国内生産台数や輸出台数、現地生産台数の推移を読み取ることができる	○						○			62.6	3.3	80	60	
7	(4)	資料を基に、自動車専用の船で輸送する理由について説明することができる	○							○	○	29.0	5.3	70	50	▼
7	(5)	資料から、環境にやさしい自動車づくりの工夫を読み取ることができる	○						○			73.3	2.1	80	60	

集計結果 ※「◎」は「十分達成」、「▼」は「要努力」を示す

	児童生徒数	正答率	無解答率	到達基準		到達状況
				十分達成	おおむね達成	
県	7,381	62.4	2.6	78.6	58.6	

分類・区別集計

分類	区分	対象設問数(問)	県正答率	県無解答率	到達基準		到達状況
					十分達成	おおむね達成	
学習指導要領の内容・領域等	国土の様子(5年)	4	46.6	5.4	81.3	61.3	▼
	我が国の歴史	24	65.0	2.2	78.1	58.1	
評価の観点	①思考・判断・表現	5	53.6	4.5	69.0	49.0	
	②技能	9	70.9	0.5	81.1	61.1	
	③知識・理解	14	60.0	3.3	80.4	60.4	▼
問題形式	選択式	17	64.8	0.3	80.6	60.6	
	短答式	5	56.9	8.7	81.0	61.0	▼
	記述式	6	60.0	4.0	70.8	50.8	
活用	「活用」に関する問題	5	53.6	4.5	69.0	49.0	

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の内容・領域等		評価の観点			問題形式		活用		期待正答率		到達状況	
		国土の様子(5年)	我が国の歴史	①思考・判断・表現	②技能	③知識・理解	選択式	短答式	記述式	「活用」に関する問題	県正答率	県無解答率		十分達成
1	(1) 資料から、我が国の位置を読み取ることができる	○		○			○			39.4	0.1	80	60	▼
1	(2) 沖ノ鳥島を理解している	○			○		○			54.0	9.2	80	60	▼
1	(3) 北方領土を理解している	○			○		○			49.5	11.8	80	60	▼
1	(4) 資料から、日本海側の気候の特色を読み取ることができる	○			○		○			43.6	0.5	85	65	▼
2	(1) 資料を基に、弥生時代の人々が食べ物を安定して手に入れることができた理由を説明することができる	○		○				○	○	52.5	3.5	70	50	
2	(2) 渡来人を理解している	○			○		○			58.5	6.4	80	60	▼
2	(3) 資料から、前方後円墳の分布や古墳の種類を読み取ることができる	○			○		○			89.4	0.2	80	60	◎
3	(1) 資料から、十七条の憲法が、役人が守るべききまりであることを読み取ることができる	○			○		○			56.6	0.1	80	60	▼
3	(2) 日本の仏教の発展に貢献した人物が鑑真であることを理解している	○			○		○			77.2	0.1	80	60	
3	(3) 資料を基に、天皇の力が全国に及んだことについて説明することができる	○		○				○	○	39.4	6.8	65	45	▼
4	(1) 資料から、貴族と武士の生活の違いを読み取ることができる	○			○			○		92.0	1.6	80	60	◎
4	(2) 御恩と奉公を理解している	○			○		○			50.0	0.2	80	60	▼
4	(3) 元寇について理解している	○			○		○			71.6	0.3	80	60	
4	(4) 書院造を理解している	○			○		○			65.6	5.9	80	60	

設問別集計結果

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の内容・領域等					評価の観点			問題形式		活用 「活用」に関する問題	県正答率	県無解答率	期待正答率		到達状況
		国土の様子(5年)	我が国の歴史				①思考・判断・表現	②技能	③知識・理解	選択式	短答式				記述式	十分達成	
5	(1) 織田信長が行った政策を理解している	○						○					86.4	0.1	80	60	◎
5	(2) 資料を基に、江戸幕府が行った大名配置の工夫について説明することができる	○						○			○	○	41.2	4.8	70	50	▼
5	(3) 鎖国を理解している	○						○					64.3	0.3	80	60	
5	(4) 資料から、江戸時代の農民の暮らしについて読み取ることができる	○						○					81.1	0.3	80	60	◎
5	(5) 江戸時代の文化や学問を表す資料を選ぶことができる	○						○					65.3	0.3	85	65	
6	(1) 明治時代が始まったときの出来事を理解している	○						○					52.8	0.3	80	60	▼
6	(2) 明治政府の政策を理解している	○						○					46.0	0.4	80	60	▼
6	(3) 福沢諭吉が著した書物が「学問のすすめ」であることを理解している	○						○		○			57.1	10.3	85	65	▼
6	(4) 自由民権運動を表す資料を選ぶことができる	○						○					79.1	0.5	80	60	
7	(1) 関税自主権がないことで日本製品が売れなかった理由を説明することができる	○						○			○	○	69.7	3.8	70	50	
7	(2) 治外法権(領事裁判権)をなくすために交渉した人物が陸奥宗光であることを理解している	○						○					61.2	0.7	80	60	
7	(3) 資料を基に、日露戦争後に人々が不満をもった理由を説明することができる	○						○			○	○	65.0	3.6	70	50	
8	(1) 満州事変以降の戦争の広がりを理解している	○						○					46.3	0.7	80	60	▼
8	(2) 資料から、戦時中の国民の生活の様子を読み取ることができる	○						○					91.8	0.7	80	60	◎